

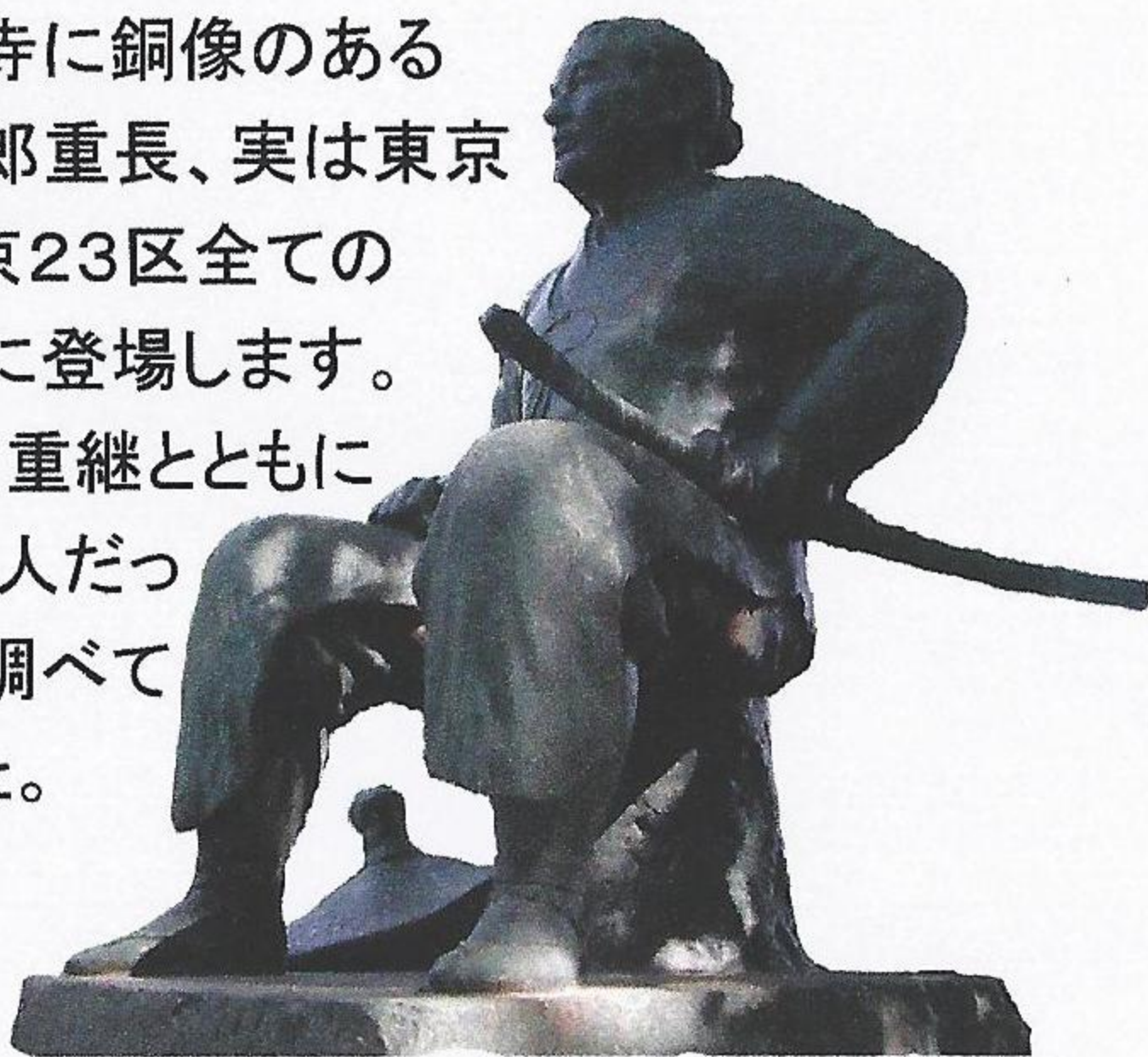
# 江戸氏の祖・重継と江戸太郎重長



歌川広重「南品川鮫洲海岸」／重継と重長が見ていた日比谷はこんな風景だったようです。

## HISTORY

慶元寺に銅像のある江戸太郎重長、実は東京都と東京23区全ての歴史書に登場します。その父・重継とともにどういう人だったのか調べてみました。



### 今の皇居に館を築いた重継

前号でご紹介したように、江戸氏は桓武天皇の流れをくむ名門で、親戚には平将門や平清盛もいます。

平安時代半ば以降、中央の貴族は国司に任命されても任地に赴かず、実質的な国務はその地に居住する役人によって行われることが多くなりました。平良文の孫将恒は秩父に本拠を置いて秩父氏を称し、重綱(江戸太郎重長の祖父)は武蔵国留守所惣検校職という統括役を担っていました。息子達は、秩父から流れ下る荒川や入間川沿いに進出して畠山氏や河越氏を称し、河口では重継(重長の父)がはじめて江戸氏を称しました。

中世には日比谷の入江が今の皇居の近くまで深く入り込んでいて、重継の館は海に臨む皇居東御苑の日本丸台地にあったといわれています。

### 源頼朝を阻んだ富豪、重長

源頼朝が伊豆で平氏打倒の兵を挙げた後、安房から武蔵国へ入ろうとするのを阻んだのが重継の子・重長で、同族の豊島氏・高西氏らの説得で降伏し双方の妥協が成立しました。

源頼朝が太井川・古葛西川・墨田川の三本の大河を渡って武蔵国に入るために、重長は三日で漁船と西国商

船それぞれ数千艘ずつを集めて浮橋を組んだと伝えられています。

東国にとって江戸は東国最南端の経済活動の中心地であり、重長は交通・運輸・貿易を担い、武士というより自衛のために武力をもつ富豪であり、そのため重長は『義経記』の中で「大福長者」と表現されたようです。

その後江戸氏の子孫は、多摩川沿いの木田見(喜多見)・丸子・六郷、平川河口の柴崎(大手町)、古川沿いの飯倉、目黒川沿いの渋谷に分散、さらに一四二〇年の記録で六郷・渋谷・丸子・中野・阿佐谷・板倉・桜田・石浜・牛島・国府方・柴崎・鵜木・金杉・小日向・蒲田などに分散しています。しかしこうした所領の細分化も惣領である江戸氏の力が弱まった原因と考えられます。

### 行楽地の紅葉山と日枝神社・慶元寺

現在、永田町にある日枝神社は重継が河越荘から山王社を館近くに勧進したのが始まりで、喜多見にある慶元寺は重長が父・重継の菩提のため建立したのが始まりです。慶元寺前身の東福寺があった皇居内紅葉山は田畑もあり梅・桜・桃の咲く行楽地でしたが、徳川家康が入国し江戸城が拡張されてからは一般人の近づけない山になってしまいました。日枝神

### pankがパンクもの

社はその紅葉山へ移されていたため、お参りできず困ると人々が訴えたことから今の国立劇場付近に移され、大火を機に現在地に移りました。

日枝神社は今、皇室の崇敬篤い皇城鎮護の神となり、六月の山王祭は神田祭とともに江戸三大祭の一つとなっています。

麹町区(昭和二二年に麹町区・神田区で千代田区となる)の区史に、「江戸が世界の東京と発展し、麹町区がその中心として今日あるに至ったのは、この時江戸氏の下した種子(重継が江戸に館を築いたこと)の胚芽し結実したものであって、歴朝の御仁慈御高德と共にその功績恩恵は吾等の夢寝にも忘るべからざるものである」と書かれています。

また区史の中で、江戸神社は江戸氏が在来の牛頭天王を氏神として館近くに創建した後、江戸氏とともに喜多見に移され、今の須賀神社(通称天王様)が本社で、神田明神にあるのは支社である」と書いています。

東京の歴史に大きな影響を与えた重継と重長、まさに忘れてはいけぬ存在です。



参考資料:『麹町区史全』1935、『江戸氏の研究』1977、『千代田区の歴史』1978、『荒川区史上巻』1989、『江戸城と大名屋敷を歩く』1994、『新編千代田区史通史編』1998、『東京都の歴史』2010、日枝神社パンフ、ほか多数

# ポポポコ新聞

[Ponpoko News]

第 53 号



=発行=

2013年10月6日

喜多見ポポコ会議

www7.ocn.ne.jp/~ponpoko/

## 喜多見ジュニア野球クラブ



藍染杯争奪学童野球大会 優勝おめでとう！

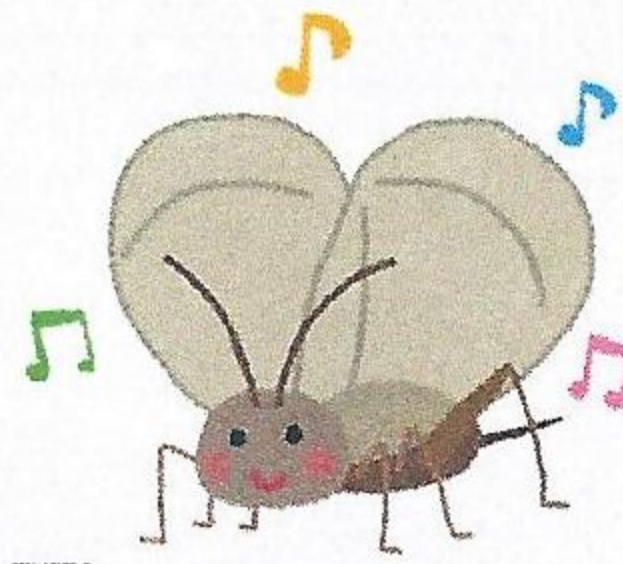
喜多見ジュニア野球クラブが色々な大会で上位の成績を収めていると聞き、小島清次監督にお話を伺いました。

約30年前に「ミッキーマウス」というチーム名で創部し、5年ほど前に「喜多見ジュニア野球クラブ」に改名しました。今年は1、2年生の加入がなく、部員は現在3～6年生の約20名、女子も2名います。チームのモットーは「心をひとつに」、力を入れて指導していることは「元気よく一生懸命声を出すこと」、大きな声が出ているときはチームの状態が良いときです。色々な子が加入してくるので、投げる、走る、打つ、ひとりひとりのレベルアップも必要です。「二子玉川グラウンド・喜多見中学校校庭・児童館前の公園で土・日・祭日に練習しています。興味がある子ども達、ぜひ体験練習に来てください」とのことです。

父母会が中心となって喜多見団地の団地まつりや喜多見児童館のイベントに協力する地域参加も伝統です。

※ 準優勝した少年野球連盟J:COM旗争奪大会の模様とチーム紹介が、10/19,20,26,27 午前J:COMチャンネルで放送されます。

## その後



## ■ 農の風景育成地区

東京都第1号「農の風景育成地区」の指定を受けた喜多見4・5丁目で、「農業・農地を活かしたまちづくり事業」が動き出します。(仮称)喜多見農業公園をどのような公園にするかなどをワークショップ形式で地域の皆さんと検討していく予定で、「詳しくは10月に喜多見4・5丁目で配布される案内チラシをご覧ください」(世田谷区都市農業課)とのことです。

## ■ 女子サッカーの内山さん

新聞49号でご紹介した内山朋香さんが今年1月、スフィード世田谷FCからAC長野パルセイロレディース(長野市)へ移籍しました。同時にU-20サッカー日本女子代表コーチだった本田美登里さんが監督に就任しました。新天地でも内山さんはハットトリックを決めるなどさっそく大活躍しています。今後も目が離せません！

## ■ プロレス初観戦

8月24日、新聞52号でご紹介したプロレスラー三富政行さんを応援しようと新木場1stRINGでプロレスを初観戦しました。観客には若い女性も多く、割合は男性6:女性4くらいでしょうか。中堅、お笑い系、女子プロ、若手、大御所のような順番で、三富さんは6試合中5試合目に登場。「三富～」「三富～」という声援が飛び交っていました。

## モクスガニも3匹



川底を歩いていたモクスガニ

8月月17日(土)、大人16・小学生3・幼児8の計27人で夏の野川ガサガサを行いました。工事後の区間にも草が生えて元の野川の姿に戻ってきました。収穫はメダカ134、ドジョウ(シマ含む)5、ウキゴリ2、ナマズ稚魚2、エビ181、モクスガニ3など計14種類369匹、他の魚に押され気味だったメダカが再び盛り返しました。

## 野川の雨水貯留池



降水時に汚水混じりの雨水が野川へ放流されることが課題となっています。狛江第七小学校跡地(西野川4丁目)に貯水池が今年度末完成予定で、降雨初期の雨水を貯留し晴天時に水再生センターへ送り処理することができます。

野川事前調査&ごみ拾い  
& 外来植物アレチウリ除去

〔日時〕 10月14日(祝)10～12時  
〔集合〕 次大夫堀公園築山横のベンチ  
〔持物〕 長靴、(あれば)ゴム手袋

## 秋の野川ガサガサ

11月から喜多見大橋上流～中野田橋上流間の工事が始まります。生きものの持ち帰り保護にご協力ください。

〔日時〕 10月19日(土)10～12時  
〔集合〕 次大夫堀公園築山横のベンチ  
〔持物〕 長靴、玉網、バケツ(予備あり)  
〔申込〕 喜多見児童館tel. 3417-9151

## 喜多見のお宝大募集！

これまでに『ポンポコ新聞』で紹介してきたお宝をご紹介するとともに、新聞に掲載してほしい人やお店などの情報を募集します。自薦OKです。

〔日時〕 11月3日(日)9:30～11:30  
〔場所〕 区民まつり会場(喜多見小学校校庭の啓発コーナー)

## 喜多見たんけん～野鳥をさがしに

野鳥ボランティアの方々の案内で喜多見の町にいる野鳥を探し回ります。

〔日時〕 12月7日(土)8:50～12:00  
〔行程〕 次大夫堀公園～須賀神社～慶元寺～氷川神社～野川  
〔持物〕 双眼鏡(貸出あります)  
〔申込〕 喜多見児童館tel. 3417-9151